USER'S GUIDE 2622

CASIO

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。
デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。
※デモ表示中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。



●デモ表示の解除

Ⓛ ボタン以外のいずれかのボタンを押します。

●デモ表示の設定

時刻モードのとき、Ⓒ ボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

ライト点灯について

どのモードのときでも、Ⓛ ボタンを押すと文字板が約2秒間発光します。
➡暗いところでも、表示を見ることができます。
※時刻モードのときは、ライト点灯に合わせてアニメを表示します。



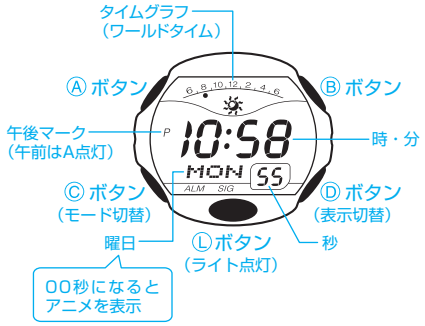
ご注意

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※e-DATA MEMORY モード、シティ気温データモード、アラームモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



＜曜日の見方＞

SUN：日　MON：月　TUE：火
WED：水　THU：木　FRI：金
SAT：土

★表示切替について

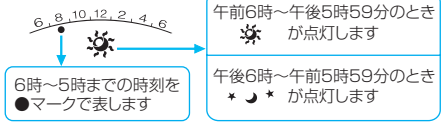
時刻モードのとき、Ⓓ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。
※ワールドタイムはワールドタイムモードで選んでいる都市の時刻を24時間制で表示します。

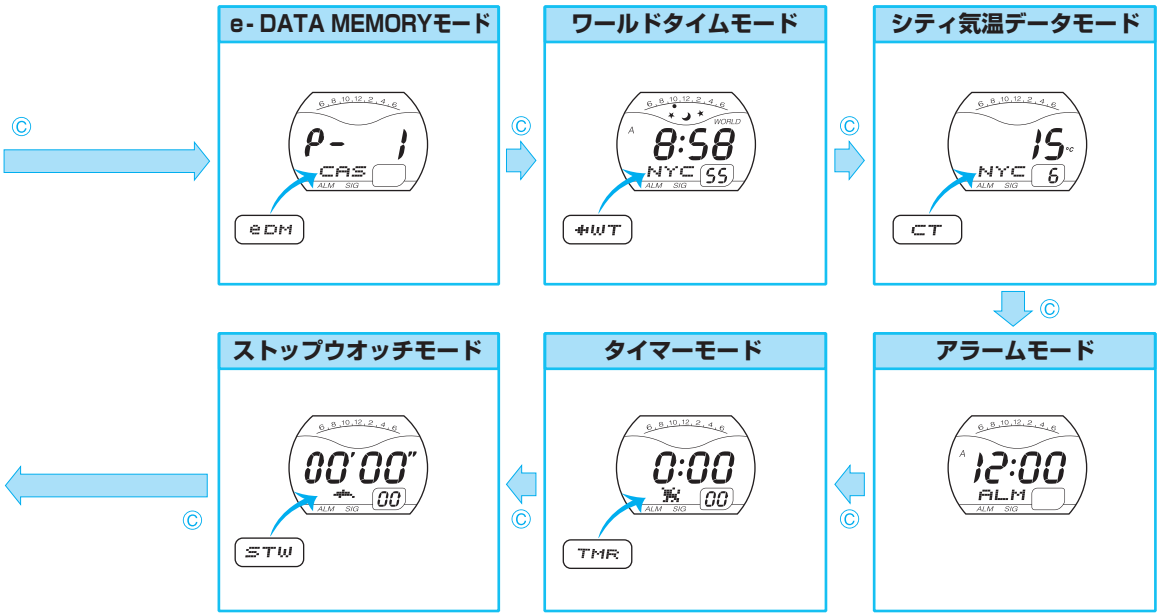


★タイムグラフについて

時刻モードでは、ワールドタイムモードで選んでいる都市の時刻をグラフで表示します。

＜タイムグラフの見方＞





e - DATA MEMORYの使い方

Ⓒボタンを押して、e - DATA MEMORYモードにします。

e - DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

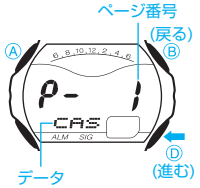
※1件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。

- 1件あたり63文字のデータを入力した場合、5件まで記憶できます（1件あたり64文字以上のデータは入力できません）。
- 1件あたり7文字のデータを入力した場合、40件まで記憶できます（1件あたり6文字以下のデータでも記憶できる総件数は40件までとなります）。

※e - DATA MEMORYモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■データのサーチ

e - DATA MEMORYモードのとき、Ⓓまたは Ⓑボタンを押します



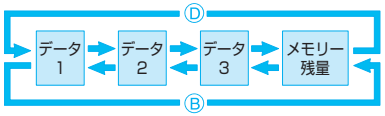
➡Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとにページが切り替わります。

※Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

※データを4文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます（データの最後に“◀”マークがつきます）。Ⓐボタンを押すと表示が止まり、もう一度Ⓐボタンを押すと動きだします。

※データ入力をしたページとメモリー残量のページを表示します。
なお、データを1件も入力していないときは、メモリー残量“100%”のページのみ表示します。

例）データを3件入力したとき



■データを入力する

(1)メモリー残量のページにする

e - DATA MEMORYモードのとき、Ⓓボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します



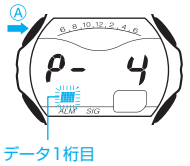
➡メモリー残量のページになります（右図）。

※“0%”と表示されるときは、すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消しておいてください。

*「■データの修正／消去」参照。

(2)セット状態にする

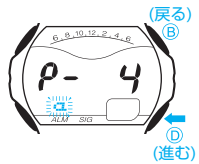
Ⓐ ボタンを約2秒間押します



➡データの1桁目が点滅します。

(3)点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

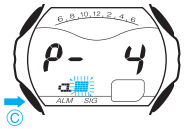


➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(4)セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡押すごとに点滅箇所が右に1つ移動します。

※押し続けると点滅箇所が早く移動します。

(3)～(4)の操作を繰り返して、データを入力します

※入力できる文字は以下の通りです。

- 英小文字　a～z
- 英大文字　A～Z
- 数字　0～9
- 記号　＊－＿@ˆ ／＼＃．：；’，” ˆ &

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡“SET”表示後、点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※続けて他のデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行ないます。

※データは入力した順に記憶していきます。

■データの修正／消去

(1) **Ⓓまたは Ⓑボタンを押して修正／消去したいデータを選びます**

(2) **Ⓐ ボタンを約2秒間押します**

➡データの1桁目が点滅します。

(3)データを修正／消去する

★データ修正➡Ⓒ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して正しい文字（数字）を表示させます。

★データ消去➡Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。“CLR”表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

(4) **修正／消去が終わりましたら、Ⓐボタンを押して点滅を止めます**

※データを消去すると、後ろのページが1ページずつ繰り上がります。

シティ気温データの使い方

Ⓒボタンを押して、シティ気温データモードにします。

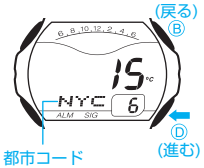
シティ気温データモードでは、世界30都市の月別平均最低／最高気温を簡単に知ることができます。

※シティ気温データモードに切り替えると、前回選んだ都市のデータを表示します。

■気温データのサーチ

(1)都市を選ぶ

シティ気温データモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



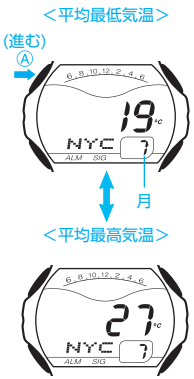
➡Ⓓまたは Ⓑボタンを押して、見たい都市を選びます。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

*表示される都市コードの順番については「■都市コード一覧」をご覧ください。

(2)月を選ぶ

Ⓐ ボタンを押します



➡Ⓐ ボタンを押すごとに1月ずつ進みます。

※押し続けると早送りします。

※平均最低気温と平均最高気温は交互に表示されます。

ワールドタイムの使い方

Ⓒボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市（27タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。
※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

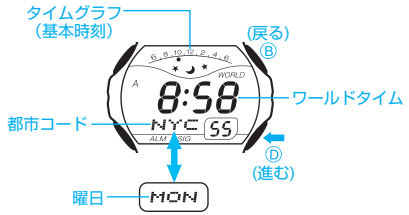
時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
*「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※「都市コード」と「曜日」は交互に表示されます。
※ ワールドタイムモードでは、時刻モードでセットしている都市の時刻（基本時刻）をグラフで表示します。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押します



➡Ⓐ ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※ サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。
※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	THR	+3.5	テヘラン
HNL	−10	ホノルル	DXB	+4	ドバイ
ANC	−9	アンカレジ	KBL	+4.5	カブール
LAX	−8	ロサンゼルス	KHI	+5	カラチ
DEN	−7	デンバー	DEL	+5.5	デリー
CHI	−6	シカゴ	DAC	+6	ダッカ
NYC	−5	ニューヨーク	RGN	+6.5	ヤンゴン
CCS	−4	カラカス	BKK	+7	バンコク
RIO	−3	リオデジャネイロ	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
BER	+1	ベルリン	ADL	+9.5	アデレード
CAI	+2	カイロ	SYD	+10	シドニー
JRS	+2	エルサレム	NOU	+11	ヌーメア
JED	+3	ジェッダ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2002年12月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

Ⓒボタンを押して、アラームモードにします。

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると20秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

(1)セット状態にする

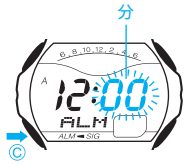
アラームモードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押します



➡「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。

(2)セット箇所を選ぶ

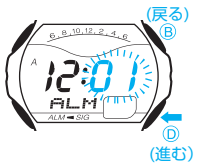
Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

(3)点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(2)～(3)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

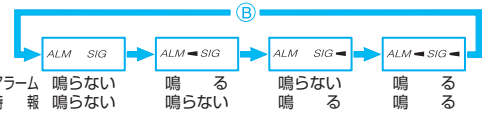
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓑ ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。
※ それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

タイマーの使い方

Ⓒボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

※工場出荷時および電池交換後は、タイマー時間が24時間“0:00”で設定されています。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の２種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

★リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると、計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

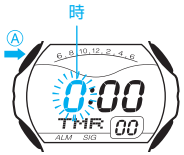
★オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。
※オートリピートタイマーを選ぶと、“↻”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

(1)セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

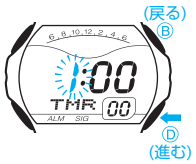
➡「時」が点滅します。



(2)「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

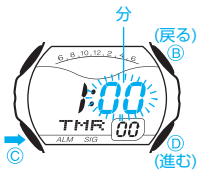
➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ １分単位で２４時間までセットできます。
※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。



(3)「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様にⒹまたはⒷボタンでセットします。

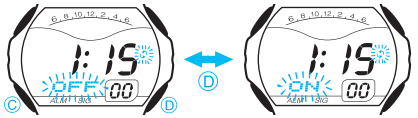


(4)タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとにオートリピートタイマーのON／OFFが切り替わります。
※ OFF ＝リピートタイマー
ON ＝オートリピートタイマー

<リピートタイマー>　<オートリピートタイマー>



(5)セットを終わる

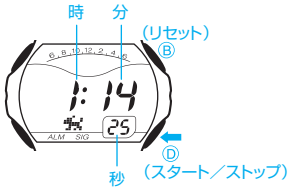
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後、Ⓑボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

ストップウオッチの使い方

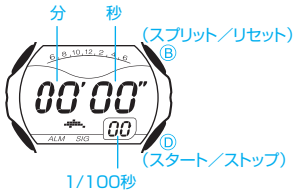
Ⓒ ボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。



●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓑ スプリット → Ⓑ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

●１・２着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓑ １着ゴール（１着タイム表示） → Ⓓ ２着ゴール → Ⓑ ２着タイム表示 → Ⓑ リセット

★計測中にⒷ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（SPL表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓑ ボタンを押すと、計測値が０に戻ります（リセット）。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

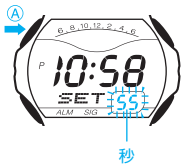
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

(1)セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2) **時報に合わせてⒹボタンを押します**

➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



(3)セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

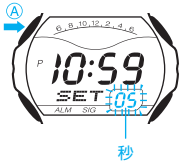
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1)セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2)サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡ON または OFF が点滅します。

Ⓓボタンを押します

➡ON または OFF が切り替わります。



※ OFF＝サマータイムOFF（通常時間）
ON＝サマータイムON（夏時間）

※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します。(サマータイムについては「■サマータイム（DST）について」参照)

(3)ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡都市コードが点滅します。

ⒹまたはⒷボタンを押します

➡Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。(「■都市コード一覧」参照)

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

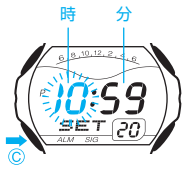


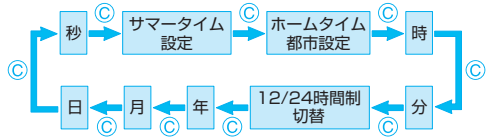
例)
東京(日本)の時刻に合わせるときは、都市コードを"TYO"に設定します

(4)「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

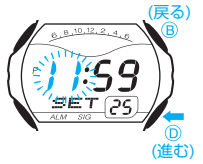




b. **ⒹまたはⒷボタンを押します**

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24時間制切替は、Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）が切り替わります。

※「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5)セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。